

西和医療センター誘致は？

若林かずみ「令和3年6月定例会の一般質問において、2点目として、JR王寺駅南側への西和医療センターの誘致や、駅南のまちづくりについて質問しました。」

一郎さん「北も気になるけど、南も気になるなあ。で、どうやねん！」

若林かずみ「西和医療センターについては奈良県の事業なので、町の回答としては、県が『西和医療センターあり方基本構想』を策定することに併せて、県と町が連携して駅周辺全体のランドデザインを描いていきたいということでした。」

一郎さん「先月（令和4年3月）あたりに、なんか、そんな新聞記事を見た気がするなあ。」

若林かずみ「奈良新聞ですね。県としては、令和5年度までに基本計画を策定する予定とのことですね。」

一郎さん「王寺駅前に病院があったら便利やけど、昭和57年の水害を思い出すと大丈夫かいな？とも思ったりもするしなあ…。」

若林かずみ「57水害があるので、王寺駅前への誘致には慎重論もありますが、駅前への誘致を期待する声も多いですね。そのあたりは十分な議論・検討が必要になると思いますが、皆さんの期待に応えるような結果にしたいと思います。」



写真は現在の西和医療センター（令和4年4月10日撮影）

明神山スカイデッキ 新築プロジェクトは？

若林かずみ「令和3年9月定例会の一般質問において、1点目として、明神山スカイデッキ新築プロジェクトについて質問しました。」

一郎さん「そういえば、そんな報道、あったな！山の上になんかできるらしいとか噂になってたけど、結局、どうなったんや？」

若林かずみ「一般質問での町の回答としては、明神山の現在の展望デッキの北デッキの場所に高さ13メートル程度の3階建ての新たな展望台を設置したい、そして、そのための補助金申請を国にしたいということでした。」

一郎さん「じゃあ、その展望台、できるんかいな？」
若林かずみ「いえいえ、話は続きがありまして…。この件は、新聞報道や噂が先行してしまったので、補助金申請する前に一度、議会での協議の場を設けていただきたいと要望させていただいたところ、9月のうちに町からの提案で議会での協議の場を設けていただきました。」

一郎さん「それは、仕事が早いな。」
若林かずみ「ですね。そして、その協議の場で、議員それぞれが意見を述べさせていただき、町と協議した結果、令和4年1月締切の補助金申請は見送りとなりました。」

一郎さん「なるほど。そういうことになったわけやな。」
若林かずみ「そうなんです。地元の皆様の声を議会が代弁させていただきました。」



令和3年11月王寺町議会で明神山を視察

教育職員等による 児童生徒わいせつ防止対策

若林かずみ「令和3年9月定例会の一般質問において、2点目として、教育職員等による児童生徒わいせつ防止対策について質問しました。教育職員等による児童生徒性暴力等の防止等に関する法律が成立し、令和3年6月4日に公布されました。法の施行前でしたが、文科省からの通知が令和3年6月11日に出ていることから、教育のまち王寺町としては、より早い対応が期待されるのではないかと思います、質問させていただきました。」

一郎さん「そうやな。教師のわいせつ事件の報道を見ることあるなあ。そら、早くやってもらったらええな。」

若林かずみ「そうなんです。学校や教育委員会の体制、被害者の通報、相談窓口、子供たちへのプライベート

ゾーン教育、わいせつ行為を未然に防止するための取組などについて伺いました。中でも、特に気になったのが、被害者の通報、相談窓口でした。」

一郎さん「なんか、問題でもあるんかいな？」
若林かずみ「はい。これについては、丁度、タイミング良く、奈良県が令和3年9月1日から、奈良県教育委員会と市町村の連携した取り組みとして、児童生徒性暴力等の相談・通報窓口を設置していただいていたのですが…」

一郎さん「そらええこっちゃ。ん？何か問題が？」
若林かずみ「相談・通報窓口の設置までは良かったんですが…、試しに私もやってみました。スマホからでもアクセスできるので、自分が小学生の気持ちになって順番に回答をしてみました。相談方法を最後に選ぶんですが、その選択肢が「面談による相談（記名）」「電話による相談（記名）」「電話による相談（匿名）」となっています。この選択肢だと、「電話による相談（匿名）」が一番気軽に相談できるな～と思って、それを選んで進むと…、「奈良県教育委員会又は市町村教育委員会に電話して下さい」となるんですね。子供が教育委員会に電話するのって、めっちゃ心理的ハードルが高くないですか？」

一郎さん「な、なるほど…。それは現実的じゃないなあ。」
若林かずみ「そうなんですよ。Lineとかで気軽に相談できる体制でないとアカンのちゃうの？と思います。これは、王寺町の教育委員会でなんとかできることではないので、王寺町教育委員会から奈良県に強く要望していただきました。」

一郎さん「そうか！じゃ、改善されたんかいな？」
若林かずみ「……。かなり強く要望していただいていたのですが…。最近（令和4年4月）、再度、相談窓口を見てみましたが、改善されていませんでした…。せっかく設置するのであれば、より効果的な方法を採用してほしいですね。県の対応に期待したいところです。」



消費者安全確保地域協議会設置

若林かずみ「令和3年12月定例会一般質問において、1点目として、消費者支援の見守りネットワーク（消費者安全確保地域協議会）について質問しました。高齢者、特に認知症等により判断能力が不十分となった方や障害者の方は、悪徳商法や詐欺行為の被害を受けやすく、被害に気づかないことも多く、さらには被害に気づいても通報や相談ができないこともあります。そこで、消費者が悪徳業者から勧誘をされて被害を受けるという流れのできるだけ早い段階で消費生活に関する相談などを行う状況を確認することが必要となります。ただ、単身世帯や高齢夫婦のみの世帯が増加していることにより、同居者による見守りが期待できないことから、このような消費者被害の予防と救済のためには、地域の方々による見守り活動が必要とされています。そして、この見守り活動を継続的かつ効果的に行うためには、ネットワークを構築して活動することが有効であるとの認識が広がっています。平成26年に消費者安全法が改正され、地方公共団体は消費者安全確保地域協議会（以下、「地域協議会」といたします。）を設置できるようになりました。この地域協議会制度においては、個人情報の保護に関する法律の例外規定が置かれており、よりきめ細やかで実効性の高い見守り活動を行うことが可能となります。具体的には、消費者庁などの保有する個人情報、いわゆるカモリストを取得することができ、この情報を見守り活動に役立てることが出来ます。現在、王寺町では、協力事業者との間で王寺町高齢者・子ども見守り協力事業者ネットワーク協定を締結し、地域の高齢者等、要支援者の見守り活動が実施されています。そこで、このようなネットワークを活かし、見守り活動をさらに強化するために、地域協議会を設置するお考えがないかを伺いました。」

一郎さん「な、なんか、難しそうな話やけど、悪徳業者とかに騙されないように、見守りを強化するための組織づくりをしませんか？というようなことかいな？」

若林かずみ「そんな感じですね。これについての町の回答としては、類似の消費生活環境にある大阪市近郊の自治体の現状などを調査して、メリット、デメリッ